

# 生ごみリサイクル通信

エ コ

# eco しもすわ

## ～第3号～

この生ごみリサイクル事業は家庭から出される可燃ごみの40～50%を占める生ごみをリサイクルすることでごみの焼却量を減らしていくことにあります。そして台所では、燃えるごみと生ごみを分離して管理することで清潔で衛生的環境を創り出します。しかし生ごみには大きな誤解が伴っています。「生ごみは臭い、汚い」「ごみの分別は面倒だ」確かに一部はその通りです。ですが、生ごみの分別はやってみると意外に簡単です。ちょっとした意識付けだけです。そして分別した生ごみを専用の密閉容器で管理する、これで台所が見違えるように清潔になります。さらに、ご自分の家庭の食生活の量と質を見極めることもできます。ごみ出しが軽く少なくなるのは言うに及ばずです。しかし、新たに生ごみの分別リサイクルに参加なされようとするには、やはりちょっとしたやる気や心がけが必要です。

いかがでしょう、あなたのご家庭のごみに目を向けてみませんか。それは身近な環境を良くしていくことにつながっています。



### ～ 見学会 ～

毎月1回日曜日、生ごみリサイクルセンター見学会を行っています。日程は回覧でお知らせしています。生ごみの分別や収集方法の説明と実際に処理機の見学です。リサイクルされた堆肥がほしい方は少しですがお渡しできます。ぜひ一度おでかけください。



### 堆肥還元と実験農園

リサイクルされた堆肥の性能を知るために小規模ですが実験農園を行っています。堆肥について今までに分かったことは、葉物野菜がみずみずしく育ちます。なによりもこの堆肥は食物からできますから安全安心です。堆肥は春と秋の2回、参加者世帯に還元しています。プランターなどにとっても良いですよ。

### ある日の収集員の会話

「この頃水がたっぷりの袋が少なくなってペールがきれいだな」「皆さん台所での水切りが上手になったのネ」「アラこの袋、底の角を切って水分を抜いてくれてあるワ!!」「切り口も輪ゴムしっかり止めてあるし、嬉しいネ」「水分を少なくするように気を使って下さっているのネ。ありがたいわね」  
 くい「ワァー!!。カボチャが丸のまま入っているヨ?!」「こっちは大根とリンゴが…?」「どんな野菜も丸のままだと分解しにくいんだよね」「ちょっと包丁を入れてもらえるといいのにな」  
 アラ?これ花じゃない?」そういえばこの前はタバコの吸い殻が入っていて困ったわね」「リサイクルできる生ゴミは《食べるもの》だけだよ」  
 「貝殻は食べるものの殻だから生ゴミいいのだけれど、ホタテとかカキみたいに大きな殻は入れないでほしいって、処理している方が言っていたわね」  
 「ペールに少ししか入っていないと何だか寂しいね。近所の人に声をかけてグループの人数を増やしてもらえないかしらね」「生ゴミを可燃物に入れる方たちがみんなリサイクル事業に参加してくれるといいわネ」「堆肥になる生ゴミを石油を使って燃やしちゃうなんて、もったいないよねー」「地球温暖化を進めるCO<sub>2</sub>も出るしねー」

### 家庭生ごみ減容リサイクル事業グループ回収参加申込書(個人・グループ)

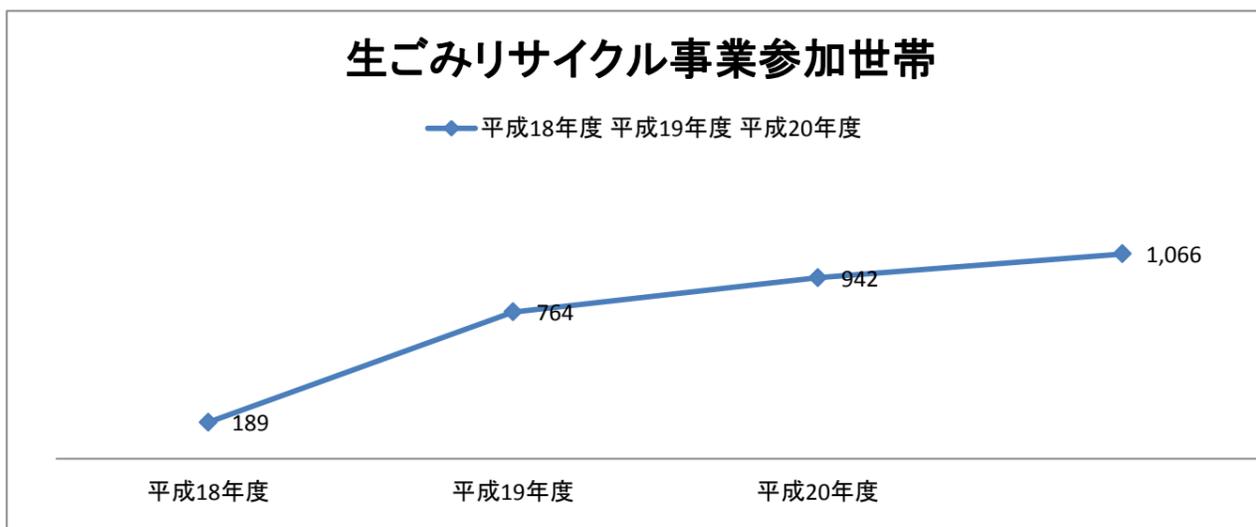
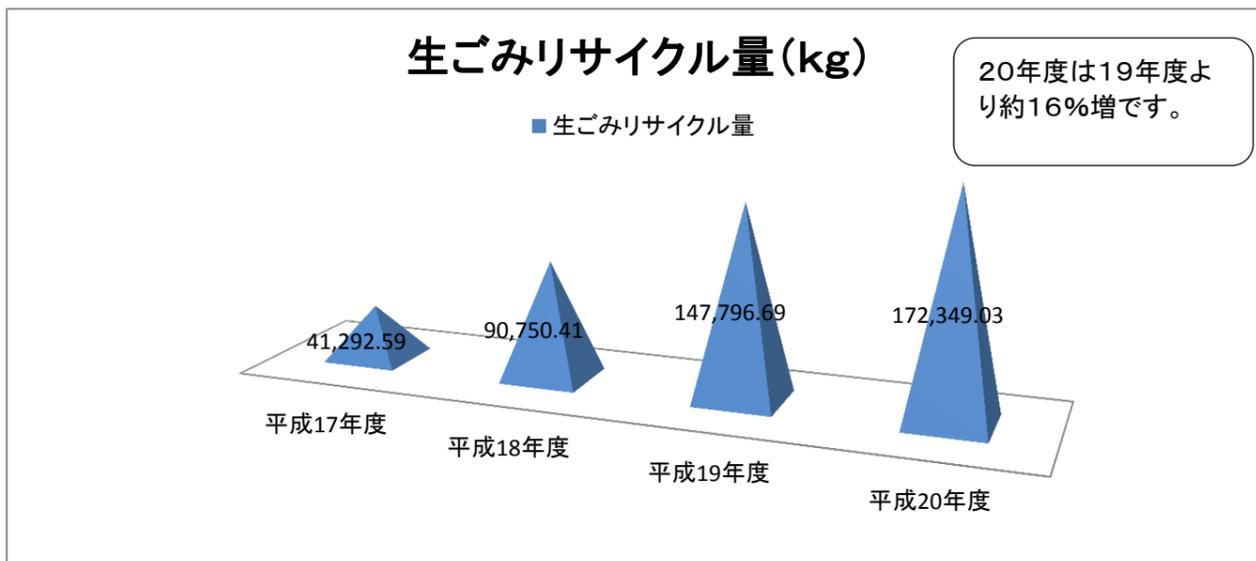
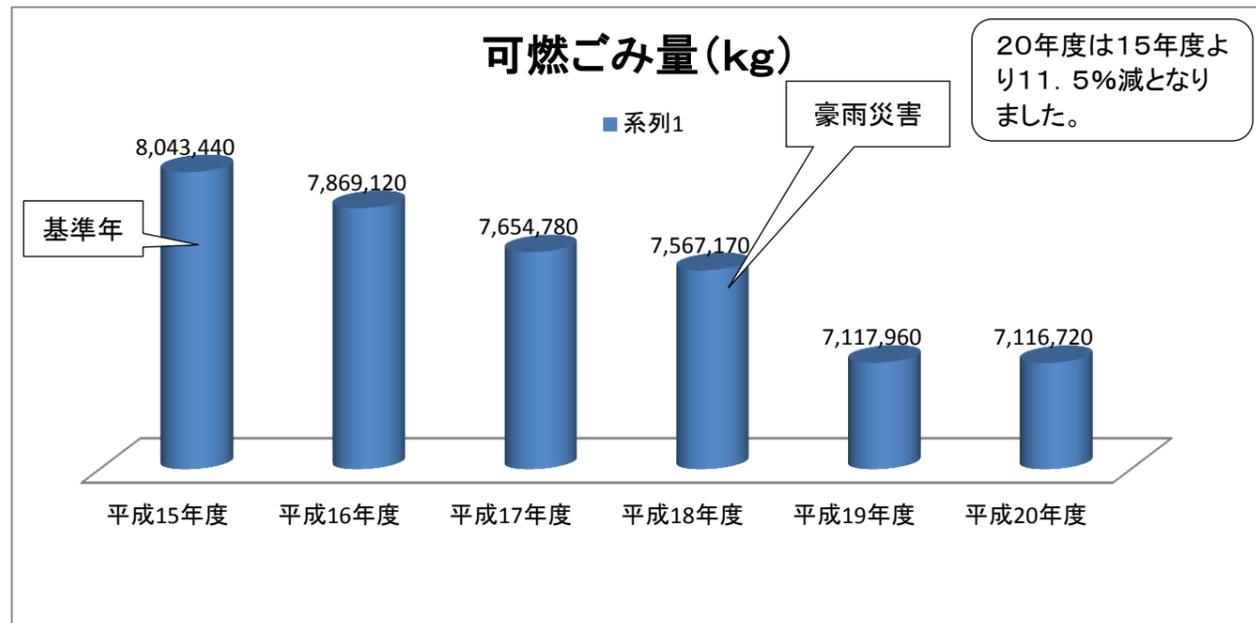
どちらかえ〇印をつけてください。

番号	住所	氏名	電話番号
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※グループ代表者の方は、必ず番号欄に〇印を付けてください。

### 【問い合わせ先】

下諏訪町役場住民環境課(奥)生活環境係 Tel:21-1111(内線141)  
 生ごみリサイクル通信esoしもすわ 第3号 平成21年5月  
 編集・発行:生ごみリサイクル推進委員会



## 水切り上手3原則

1. 不用意に生ゴミを濡らさない。  
調理のくずは三角コーナーにいれずに水のかからない所でザルなどのストックする。
2. ぎゅっ!としぼる  
三角コーナーの生ごみは、上からぎゅっ!と手で押さえ、水分をしぼる。
3. 暖かいところには置かない、また1週間以上ためない。  
生ごみは分解時に水分を多く出します。特に夏場は早い。

『始めてよかった、生ごみリサイクル』  
『お得です、生ごみリサイクル』  
～ 可燃ごみ、こうすれば減らせます ～

- 生ごみ減容リサイクル事業に参加しましょう。  
可燃ごみの40～50パーセントを占める生ごみを分別リサイクルすることで週毎のゴミ出しを軽く、少なくすることができます。
- 小さな紙類もこまめに資源回収に出しましょう。  
可燃ごみの中で生ゴミの次に多いのが紙類です。こまめに蓄え資源回収に廻しましょう。
- 家庭ごみの正しい出し方と、リサイクルカレンダーを積極的に活用しましょう。  
今まで何気なく捨てていたゴミも、リサイクルの意識付けをすることにより可燃ごみは格段に減らすことができます。

『エコはちょっとした心がけ』

家庭でのエコは、まずご自分たちのゴミを見つめ考えることから始まります。リサイクルに目を向け、それを行うことは家庭生活を合理的に無駄なく行うことに繋がります。

『始めてよかった、生ごみリサイクル』

～ 「生ごみ出しは、主人が全部やってくれるの」感謝! 感謝! ～

私たちのグループは6世帯で、3ヶ月交代の当番制です。当番が終わったばかりの方に「ご苦労様でしね」と声をかけてみると、「ウチは全部主人がやってくれるのよ」と答えが返ってきました。私のところもそろそろ当番が廻ってくるので主人にたのんでみよう

グループ参加者より

～ 「生ごみって、分別って、やってみたら簡単」始めてよかった! ～

先日、二年ほど前に生ごみ事業に参加を呼びかけたご家庭の方に偶然出会いました。その折は「やりたくない」とのご返事の方でした。ところが「私、生ごみ事業参加したんですよ」と、その方がおしゃいます。続けて「生ごみって、分別って、やってみたら簡単」「始めてよかったわ」そんなふうにおしゃっていました。そうなんです、実際に生ごみの分別を始めれば以外と簡単で、そしてその重要性を実感できるのです。

推進委員より

～生ごみリサイクルの推進委員募集してます～

推進委員会は月一回の定例会で参加者拡大の話し合い、リサイクル通信「エコしもすわ」の作成。そして、見学会、実験農園、堆肥還元などの運営やその宣伝を行うところです。あなたも推進委員会に加わり、環境事業の担い手となりませんか。